

## 【プログラム9：これどう思う？あなたのモラルは？】

《 形態：全 → 全体 個 → 個人 G → グループ 》

時間	形態	講座の流れ
1分	全	1. ねらいを確認する。【1分】 [キーワード] ○モラル
26分	G 全 全	2. 「Yes or No?」を通して考える。【8分】 (1) 例題「Yes or No?」を聞き、自分の考えを意思表示する。 ・一人一人がコマ（おはじきや消しゴム）を持ち、例題を聞いた後、「Yes」「No」「どちらとも言えない」のどこかにそのコマを置く。 ・そこにコマを置いた理由をグループの人に話す。 (2) 例題④でのケースについて考える。 ・自分が、近くにいた保護者だったらどうするか？ (3) 例題⑤でのケースについて考える。 ・自分にも似たような経験はなかったか。 ※「Yes or No?」の例題は5問あるが、生徒の実態や講座の時間により取り扱う例題数を考える。また、上記(2)(3)の活動を深く考えさせると時間が足りなくなるので、軽く問いかける程度にする。これらの活動は、次の3の活動につながることを、進行役が意識しておくことが必要。
	個G 個G	3. 「皆が『いいね!』と思う社会」について考える。【15分】 (1) 周りの人の行動で、他の人や社会に役に立っている行動、すごいと思う行動を紹介する。 (2) 今の自分にできることは何か考え、紹介する。 例：・保護者が車イスマークがある所に駐車しようとしたら、他の場所に停めるように言う。 ・公共交通機関を利用するとき、大声で話さない。音楽の音量に気を付ける。
	個全	4. 活動を通して、考えたことや感想を紹介する。【3分】
3分	全	5. まとめ【3分】 ・モラルには罰則があるものとないものがある。実際の生活の中では、「このくらいはいいだろう。」と安易な気持ちで行ってしまう行動が見受けられるが、そういったモラルの低下による行動は、暮らしにくい社会へとつながっていくと考えられる。 ・自分もそうだが、「皆が『いいね!』と思う社会」にするために、どんなことができ、どんなことはしたらいけないか考えることも大事だ。 ・友達や他の人の行動に流されず、自分の考えをしっかりとつことが大事だ。

### 【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・自分の子どもに誇れる行動をとれる親であってほしい。子どもは、身近な人の影響を受けながら育つ。とりわけ一番影響力が大きいのは保護者である。「子は親の鏡」という詩もあるように、子どもにやってほしくないことは親がしない等、子どもの見本になる大人になってほしい。